

Mag-ny cream

美容法

J·S·R·O

Japan super oxide dismutase research organization

国宝石マグニー（Mag-ny）のメカニズムと効能

丹羽免疫研究所 所長 丹羽耕三

【由来】

元来、太陽光線（エネルギー）を吸収した地球上の岩石類（樹木も含め）は、当然吸収したものを再放射する力を持っています。この太陽光線（エネルギー）の中には、動・植物の成長に必要な4～14 μm の育光線を始めとする色々な長さの波長をもった有益な光線即ち電磁波・エネルギーが含まれています。地球は太古の時代溶岩でドロドロだったその時代に太陽エネルギーを吸収して岩石になったもの、また、この太陽エネルギーを吸収した天体の岩石が地球上に降って来て地上に隕石として存在するものなどがあります。

以上のことから地球上の岩石類は大なり小なり、太陽エネルギーの中の、人体の成育に必要なエネルギーを再放射する力を持っているのです。最近流行りの色々健康に有益な石や砂、トルマリンやセラミックと云われるものが薬石として健康産業の人々を通して販売されていますが、これは皆誤りではありません。ただ、その石の放射するエネルギーが強いか弱いかの差によって優劣が決まるのです。

私は自然回帰の医療を標榜して20年になりますが、その丹羽療法ひやうぼうの開発の歴史の最後に達し、得られた最高のものが、何十億年もの間、地球のマグマが噴出して出来た、この北陸・五頭山系の地底（鉱底）に眠る“国宝石・マグニー”です。この国宝石・マグニーは、最近注目されて来た、“水の浄化”や“健康増進”に用いられている種々の薬石、岩石類（トルマリン石等を含む）やセラミック類より、比較にならないほど強力なパワーを有する、電磁波・育成光線（成長エネルギー）を放射するのです。

【含有成分とその作用機序】

含有成分：国宝石の構成鉱物調査では、含有量が70%の石英（ $\alpha\text{-SiO}_2$ ）を主体に、曹

長石 ($\text{NaAlSi}_3\text{O}_8$) や雲母の一種であるアナイト ($(\text{KFe}_3\text{SiAl})_4\text{O}_{10}(\text{OH})_2$) の他、微量のバラ珪灰石 ($\beta\text{-CaSiO}_3$) を含有されています。

また、化学組成では、マグネシウムやカルシウム、カリウムといった主要元素はもちろんのこと、必須微量元素の種類が極めて豊富であることがこの鉱石の大きな特徴となっているのです。ちなみに人体から見つかった元素は 50 種類以上ありますが、その中で生体に役割を果していると考えられる必須微量元素の大半を含有していることは注目に値します。

一例をあげますと、糖尿病の改善に関連するバナジウム、活性酸素消去酵素である SOD (スーパーオキシドディスムターゼ) の活性と密接な関係があるマンガン、銅、亜鉛、さらには生物の成長因子に関係するコバルト、生体内で極微量ながら他の元素と共存し生体維持に関わるといわれるチタン、免疫促進効果、抗炎症作用に関わるセレン等々、一般の岩石ではみられない微量金属元素やさらには地球の始原的組成とされる希土類元素を多種含有しているのが大きな特徴となっています。

これらは、火山性のマグマから放出された様々な微量元素がガス化し、1 万年からの時をかけて母岩である砂岩の粒子空間に入り込みホルンフェルス化したためと考えられます。

次に、自然界の全ての物体は、動・植物の成長に必要な育成光線 ($4 \sim 14 \mu\text{m}$ の遠赤外線)、即ち成長エネルギーというべき微弱な放射線 (無害) を放出しています。

その中でも、このマグネー石は、この育成光線の放射が最も強力で、電子レンジや電熱器の放射のように、皮膚・人体の組織・細胞の表面のみに熱を与えて、表面のみを刺激・活性化させるのではなく、組織・細胞の中央、芯まで熱を到達させ、この成長エネルギーを付与し、細胞を活性化し、後述のようなマイナスイオン不足の酸化状態の改善、水の改善、水のクラスターの切断、皮膚の保湿機能の亢進、過酸化脂質の形成抑制、血流の増強、ダイオキシン・塩素化合物などを体内から解毒させ、後述のような皮膚疾患、内科疾患に幅広く著明な臨床効果をもたらしています。

^{40}K ：筑波大学理学部久保田講師の研究所での検定結果では、この国宝石・マグネーは、カリウム系の放射性同位元素である「 ^{40}K 」が、生体に良いとされる放射線ホルムシスレベルのエネルギーを放射しており、その値は、 $8.1 \times 10^{14} \text{q/gr}$ であり、この数値は、一般に知ら

れている薬石と比較して非常に高いです。

SiO₂：エネルギー鉱石の特徴の一つとされる SiO₂（珪酸）含有量が70%と抜群に多いのです。さらに、この石は高遠赤外線放射体であり4.0～24 μm 波長域の遠赤外線放射率は、平均で95%と極めて高い放射率を持っていて、一般に、体温36℃の人体の波長は9.4 μm に相当しますが、国宝石は、人体の成長に必要な育成波長といわれる4～14 μm の遠赤外線エネルギーを放出し、生体構成分子と共鳴・共振することにより、大きなエネルギーを発生させています。

サトルエネルギー：国宝石からは、サトルエネルギー測定器により、今日世界的に注目を浴びつつある、中・遠赤外線と関連する“サトルエネルギー”が放出されています。

地球上のあらゆる物質を最小の単位まで分解すると「振動」をもった光の粒子になります。この物質のもつ固有の「波動エネルギー」がサトルエネルギーで、動植物の老廃物を取り除き、免疫機能を高めてくれます。

マイナスイオンと活性酸素障害：GM方式およびゲルディエンコンデンサー方式の2方式で、国宝石のマイナスイオン発生能を実験した結果、（一般に、通常室内ではマイナスイオンより人体に有害なプラスイオンの方が多いのですが）静止状態で国宝石を室内に置いた場合、人体に健康的で有益なマイナスイオンの方が多くなります。この事は私が強調している現代の環境汚染の結果、有毒な活性酸素が増加し、癌・アトピーを始め多くの難病を発生させており、健康な人々もこの活性酸素で体内の組織、臓器が酸化され、マイナスイオン不足の所謂酸化状態の非健康状態に陥っていますが、これを国宝石のマイナスイオンが改善させ、中性に近づけ生体の正常なバランスを保たせているのです。

水のクラスターの切断とCa²⁺：丹羽免疫研究所の実験結果では、血管内の過酸化脂質を減少させることにより著しく血流を増強させ、また、次項で詳述しますが、水のクラスターを切断させることにより、飲料水では水の浄化をもたらし、また、クラスターの切断は水の容積を縮小し、比重を大きくし、人体の正常な細胞膜への水の付着を強力にし、野菜や肉・魚の食品の鮮度を維持させ、また、比重の大きくなった水は容易に細胞内に浸透して行き、その際、細胞外のCa²⁺を細胞内へ流入、増加させ、細胞内Ca²⁺の増加は一般の生体の細胞の活性化をもたらすことが証明されています。（炎症11：135,1991；炎

症 12 : 63,1992 ; 炎症 16 : 425,1996 ; FRAGRANCE JOURNAL3 : 27,1999 ; Int J Biometeorol 37 : 133,1993)

皮膚細胞の保湿機能亢進：国宝石・マグニーが、重症のアトピー性皮膚炎や、難治性の尋常性乾癬に効果があるのは、両疾患は共に角化性の疾患で角層の保湿機能が低下した乾燥肌で、これが高じて病気になるわけです。国宝石は上述のように水のクラスターを小さくし、水の容積を小さくし、比重を上昇させるため細胞外に存在していた水が浸透圧の関係で（皮膚）の細胞内に浸透・流入して来ます。かくして、乾燥していた患者の皮膚角層の細胞の周囲がクラスターの小さい、比重の高いコンパクトな水で覆われ、低下していた皮膚（角質）の保湿が亢進し、両疾患が改善してくるわけなのです。

磁場の形成と Na,K,Mg,Zn：マグニーは上述のように、人体の細胞に有益で、強力な電磁波を放射し磁場を形成するため、皮膚の Na,K のバランスを保ち、その結果 Mg と Zn の値が上昇し、アトピーや乾癬に効果があると考えられています。

血流促進増強作用：私は学会や論文で、強力な遠赤外線放射体は、不飽和脂肪酸の二重・三重結合を切断し、活性酸素が不飽和脂肪酸に反応して、過酸化脂質の形成を抑制することを証明報告しています。（炎症 11:135,1991; 炎症 12:63, 1992; 炎症 16:425,1996; FRAGRANCE JOURNAL3:27,1999; Int J Biometeorol 37:133,1993)

この過酸化脂質の形成抑制は、血管内壁への過酸化脂質の付着を抑え、血流を著明に改善する事も報告しています。

マグニー軟膏は重症アトピーや尋常性乾癬の特効薬：マグニー石を超微粒子に粉碎してワセリンに混ぜて作った軟膏は、上述の理由でアトピー性皮膚炎や尋常性乾癬に素晴らしい治療効果を示し表（1）にも表示しましたように、市販のステロイ

表 (1) マグニー石粉含有軟膏とステロイド軟膏の、アトピー、乾癬への治療効果の比較

	皮膚疾患名	アトピー性皮膚炎 (112)				尋常性乾癬 (46)
		I 度 (10)	II 度 (22)	III 度 (42)	IV 度 (38)	
軟膏の種類	リンデロン軟膏	88.5	79.6	56.4	47.2	53.6
	1/2リンデロン軟膏#	49.8	44.2	44.2	27.7	20.3
	Cマグニー軟膏II	96.7	106.2	106.2	75.6	91.4
	マグニー③軟膏§	50.3	48.3	41.8	34.2	24.8

() 内は患者を示す

※分類はBri.Dermat. (NIWA et al2003) atopy scoreによる

I 度：軽症,AD score11 以下

II 度：中等症,120<AD score<169,III 度：重症,170<AD score<219,IV 度：超重症,AD score≥220

#：市販のリンデロン軟膏をワセリンで2分の1に希釈したもの

II：市販のリンデロン軟膏をワセリンで2分の1に希釈したものにマグニー石微粉末を30%加えたもの

§：ワセリンにマグニー石微粉末が30%のみ含有されている。

治療効果の判定方法：上述のatopy scoreが、治療開始2週間後に、それぞれの軟膏塗布により減少したscore数です。（数字が大きい程、効果が強かった事を示す。）

ドのチューブの軟膏を2分の1に薄めたものとほぼ同等の効果があり、且つ、ステロイドのチューブの軟膏そのものと、ステロイドの濃度を2分の1に薄めたものにこのマグネー石粉を30%混ぜたものが、ほぼ同等か薄めていない単独のステロイド軟膏より効果を示します。皮膚萎縮を始めとするステロイド軟膏の副作用が問題になっていますが、マグネー石粉軟膏は、前述の説明でお判りになりますように、皮膚細胞の新陳代謝を活発にし、皮膚萎縮やひどい皮疹のために跡に残った醜い色素沈着を改善・消失させますので、現在の重症アトピー性皮膚炎や乾癬の患者さんの救世主と言える軟膏の出現と言えます。将来、日本のニッポン世界の医薬品の軟膏にするため某製薬会社と提携して、正式に医薬品認可をとる準備をすすめています。

マグネー軟膏は色素沈着を除去してアトピー患者の肌をきれいに：前述の理由（メカニズム）で、マグネーの軟膏がアトピーや乾癬に何故効くかがお判りになったと思いますが、重症アトピー性皮膚炎や乾癬の皮疹が改善・消失させたあとに、御存知のように皮疹の跡に必ずと言ってよいほど、茶色～黒色の色素沈着を残します。この色はみっともなく、特に女性は首や顔に出ると嫌がります。私のマグネー軟膏はステロイドの入っていないマグネー（ワセリンに30%のマグネー石粉が含有されているだけの軟膏）だけで大抵の患者さんが1～2ヶ月で色素沈着が軽減、消失して非常に喜んで頂いています。また、その上、ステロイドが全然含まれていないマグネーだけで、前述のように重症アトピー性皮膚炎、乾癬などの皮膚炎に対しても、市販のステロイド軟膏を2分の1に薄めたステロイド軟膏と同等の効果があり、その上、アトピーの皮疹や跡の色素沈着を消失・回復させるし、更に、ステロイドの最も大きい副作用である皮膚萎縮も改善するので非常に喜ばれています。

マグネー石粉は、ステロイドの副作用を軽減させる：ステロイドの軟膏の副作用はみなさまよく御存知のように、一番知られているものとして正常な皮膚の若返り細胞（線維芽細胞）を叩いてしまって、若い組織が新生せず、古い組織ばかりが残って、皮膚が老化、萎縮してきます。

実際具体的な症状としては皮膚が薄くなり毛細血管が透けて見えるようになったり、出血しやすくなり、正常な皮膚がポロポロになって来るのです。

このステロイド軟膏の皮膚への副作用をネズミで実験する実験系があります。このネズ

ミの実験系を使ってステロイド軟膏の副作用を確認し、そこへマグニーの石粉を入れますとステロイド軟膏の副作用である皮膚の萎縮が軽減したという実験がありますので御紹介いたします。

まず、ICR マウスといってステロイド軟膏を塗ると著明にその皮膚の萎縮が出現しやすいマウスがあります。このマウスを購入して表（2）のようにステロイド軟膏の塗布を開始します。表（2）の1段目には白色ワセリンだけしか塗っていない対象のマウスの皮膚の厚さを測って1段目の右端に記入します。即ち、白色ワセリンを1週間塗ってその時のネズミの皮膚の厚さを測ったものです。次に、2段目に白色ワセリンにこのマグニーの石粉を30%入れて作った軟膏をネズミに塗りますと皮膚が83.9 → 97.4 に厚くなっている事がわかります。これでマグニーにはステロイドと全く逆で正常の皮膚を厚くする作用がある事が知られます。今度は3段目に、ステロイド軟膏（リンデロンVG軟膏）だけを塗りますと83.9 → 55.7 と著しく皮膚が薄くなります。そこへ今度は4段目から6段目までの欄ですが、リンデロンVG軟膏の中にマグニーの石粉を10% ,20% ,30%混ぜたものを作って、これをネズミに塗布しますと、55.7 とステロイド軟膏（リンデロンVG軟膏）で薄くなっていた皮膚が、6段目のマグニーの石粉20%入れたリンデロンVG軟膏では、66.3 と厚さが回復してきています。この事はステロイド軟膏の中にこのマグニーの石粉20%～30%含有させておくと、ステロイド軟膏による皮膚の副作用がかなり防げるという事を示しています。

表（2） ステロイド軟膏のマウス皮膚の萎縮効果とマグニー石粉によるその萎縮抑制効果

	使用前 (g)	体重 使用後 (g)	差 (g)	胸腺重量 (mg)	皮膚の厚さ (10-2mm)
白色ワセリン	26.4 ± 0.9	28.2 ± 0.6	1.8 ± 0.8	54.8 ± 17.9	83.9 ± 6.5
白色ワセリン+Mag-NY30%	26.6 ± 0.8	28.7 ± 1.4	2.1 ± 0.8	70.4 ± 8.7	97.4 ± 14.5
VGS	27.1 ± 0.6	27.7 ± 0.8	0.6 ± 0.3	37.8 ± 11.9	55.7 ± 7.6
VGS+Mag-NY10%	25.8 ± 1.3	26.3 ± 0.6	0.9 ± 0.7	39.9 ± 9.3	56.8 ± 4.8
VGS+Mag-NY20%	28.7 ± 0.7	28.3 ± 0.6	0.5 ± 0.1	41.2 ± 3.7	66.3 ± 8.4
VGS+Mag-NY30%	27.3 ± 1.2	26.2 ± 0.8	-1.1 ± 0.5	36.9 ± 7.1	65.4 ± 7.3

前述のようにマグニーの石粉の入った軟膏はアトピー性皮膚炎に非常に効果を示すだけでなく、ステロイド軟膏の副作用も抑えることから、アトピー性皮膚炎が重症でどうしてもステロイド軟膏を使用しないといけない時に、このマグニーの石粉を、20%～30%入れてステロイド軟膏を塗ると、ステロイドの副作用が余り出現しないという事が証明されました。そういう意味でアトピー性皮膚炎や尋常性乾癬の治療に必要不可欠という事が言えます。

マグニー石・サンドバス入浴療法：マグニー石を粉碎して直径2～3mmのセラミックボール（球形にした方が一定容積で表面積が最大になり、遠赤外線放射面積が最大になる）を沢山作り、それに湯を入れて温め、その中に入浴すると皮膚も含め全身の細胞が活性化され血流もよくなります。現在、土佐清水病院でもマグニー石サンドバス入浴療法を始めています。

この石風呂は、一度でも入浴されるとわかりますが、湯につかって3分も経たぬうちに全身の血流がよくなり、全身の血管が“ダク・ダク”と脈を打ち始めるのを感じます。このサンドバス入浴後の感想として次のような事が使用した人々の経験から云われています。

(日)浴槽が汚れずお湯の温度がさめにくい (月)あがっても、もう一度体が温まってくる
(火)翌日も湯上がり感が残っている (水)弾ぱつ指（バネ指）の痛み、股関節の痛みなどが1回で治る
(木)長年の転んだ時の深部の痛みがとれる (金)お湯が汚れずいつまでもきれいで臭いがない

【マグニー石サンドバスなどマグニー製品の適応疾患】

血流障害・血管の閉塞・冷え性・肩凝り・腰痛・関節炎を始め、細胞の活力の低下している糖尿病・肝硬変・神経障害・歩行運動障害など。更に、皮膚疾患では、ステロイドなどの治療に抵抗する重症のアトピー性皮膚炎・難治性の尋常性乾癬などに素晴らしい治療効果を示します。

【史上最強の環境汚染物質、ダイオキシン・塩素化合物を排泄・除去する】

1970年代に始まった水洗トイレは、水道水の水源にトイレの糞尿を排出・流出させ、そ

のため、殺菌剤として大量のカルキが（水道水の）浄水場で使用され始めました。その結果として、塩素化合物の毒性が問題化し、その究極の結果、人類史上最強で最後の毒物として現れたのがダイオキシンです（著書“水”ビジネス社）。このダイオキシンは、メダカの雄を雌に変えてしまう程の強力なDNA転換作用まで有する猛毒で、人類はこの猛毒ダイオキシンによって存亡の危機に立たされています。このマグネー石入浴療法は、表（3）のように、2～3週間毎日続けてマグネー石サンドバスに入浴して体内のダイオキシン値を測定しますと、その値が約半減しています。このマグネー石は、以上のように、猛毒ダイオキシン・塩素化合物を私達の体内から見事に体外へ排泄してくれます。

ちなみにアメリカ人女性は10人に1人が乳癌と云われており、これも塩素化合物が体内で女性ホルモンの卵胞ホルモン様の作用（環境ホルモンと呼ばれている）をして乳腺を刺激して乳癌を発生させているのです。（メダカの雄→雌の転換もこの作用による）そしてこの塩素化合物はダイオキシン同様体内の脂肪組織と結合して、一度体内に入ると中々体外へ排出されません。そしてどんどん乳癌の発生など体内で発癌作用を始め、私たちの健康を蝕んでいます。このマグネー石の石風呂は、表（3）のように2週間余りの入浴で、この猛毒ダイオキシンや塩素化合物をも体外排出して、塩素化合物で汚染された私達の身体を守ってくれるのです。

表（3） マグネー石サンドバス入浴療法前後の重症アトピー患者

症例	脂肪量	ダイオキシン類濃度	コプラナPCB濃度	ダイオキシン類 + コプラナPCB濃度
	g	pg-TEQ/g-fat	pg-TEQ/g-fat	pg-TEQ/g-fat
症例1 （入浴前） （3週間入浴）	0.3362	11.2	2.74	13.9
	0.2807	3.57	2.71	6.28
症例2 （入浴前） （2週間入浴）	0.2636	22.7	7.91	30.6
	0.3891	14.0	5.09	19.1
症例3 （入浴前） （3週間入浴）	0.3081	8.53	1.99	10.5
	0.3509	4.52	1.21	5.73

【家庭で出来るサンドバス入浴療法】

サンドバス入浴療法に使用している小さい球形のマグニーセラミックボール 5kg を布の中に入れて、それを 1～2 袋、お金に余裕のある人は 3 袋（合計 15kg）を、お風呂に入る時に湯船に入れて入浴します。高度の肩凝りでも、腰痛、関節痛、神経痛、冷え性などに効果があり、また血の循環が良くなりますから、皮膚も綺麗になります。アトピー患者さんも 2～3 ヶ月続けていると、皮膚が綺麗になり喜ばれます。

一石から十分のエネルギーが放射されますが、理想的には 38℃～42℃位の温度がエネルギー放射量を倍増しますので、辛抱できる高温の風呂に入られる事をお奨めします。なお、この石は一生使用できますし、また、家族がみんな入浴でき、家族中の健康の守護神になり得ます。

【ドロンコ美容】

日本だけでなくフランスやドイツでも太陽光線を吸収した泥が再放射する育成光線を利用して、ドロンコ美容（湿った泥を身体に塗って熱を加えて育成光線を十分放射させ皮膚への血液循環を良くし美容を回復する）を行っています。

このマグニーから作った泥のドロンコ美容は、既存の泥と桁違いに効果があり、この軟膏を塗っただけでシミ、ソバカスが 2～3 ヶ月で軽減、消失するのと同様に、(日)で説明している石風呂に入浴した後に行うと、更に効果が増強します。現在種々の遠赤外線放射体である泥類を使って、ドロンコ美容が行われていますが、前述のようなマグニー石の遠赤外線のもたらす皮膚に対する保湿機能の亢進や、細胞の活性化から考えますと、当然皮膚の美容に著しい効果をもたらす事が判ります。

【既存の誤解を正す】

一般に遠赤外線を放射する薬石・岩石類・セラミック類は、人間の正常な細胞の活力のみならず、癌細胞の活力も高めるので、癌患者には使用してはいけないと言われていました。

しかし、これは大きな誤りで、丹羽免疫研究所の実験結果では、この国宝石サンドバスは、

細胞内 Ca^{2+} を上昇させることにより、低下していた正常な細胞の活力や機能は高めるが、癌細胞などの異常な細胞の働きは、逆に Ca^{2+} を低下させ、その活力を低下させるのです。従って、末期で著しく、るい瘦・消耗している患者は除いて、一般の癌患者も入浴して害がないどころか治療効果が認められています。

【環境省御用達商品】

国宝石は、上述のように超強力な電磁波が水のクラスターを切断して水の浄化をもたらし、且つ、他の岩石と比較して硬度が高く、硬くて割れにくいなどの利点により、水道の土管に環境省に採用され、年間数トン～10トンの契約で買い上げていただいている日本の薬石・岩石です。

マグネー石は土壌を浄化する：マグネー石は水道水の汚染された塩素イオン、トリハロメタン、ダイオキシンを除去しますが、汚染された土壌をも浄化します。マグネー石粉 16kg を一反の畝（タタミ一畳に一握り半）に撒きますと、一回だけで土壌の浄化が得られます。

マグネー石粉は植物、菜、魚、動物の成虫を促進：上述のように土壌に撒いたマグネー石粉は、著しく野菜や果物の生育がよくなります。また、マグネー石粉を飼料に入れて食べた魚やニワトリのお話ですが、まず、鯉に食べさせると、鯉の全国コンクールで日本一位になりましたし、養殖の魚の育ちがよく、ニワトリに食べさせると、その卵の黄身の色と張りが普通の卵と全然違ったものになります。飼料に入れる場合は、飼料：石粉＝7：3の比に混ぜて食べさせて下さい。

高知県土佐清水市旭町 4 番 4 号

丹羽免疫研究所 所長 丹羽 耕三

[日本SOD研究会]

<http://www.sod-jpn.org/sod/>